



新しい年度がスタートして3か月がたちました。今年度も感染防止のため、当面保護者の皆様からの本の読み聞かせは見合わせるなど、例年通りの活動ができないこともありますが、朝の読書タイムやバス待ちの時間、子どもたちは自分の読みたい本を見つけ、読書を楽しんでいます。

今年度も子どもたちが多くの本と出会えるように、本の購入・整理等の環境整備、図書委員会の活動などを工夫していきたいと思います。また、今年度もソフィアセンターによる「移動図書館」が実施され、「貸出文庫」も年6回（1回40冊程度）配本されます。週に1回、読書支援員さんも来校され、図書館の整備や読み聞かせをしてくださいます。



家庭での読書習慣を定着させるため、引き続き『家読』にも力を入れていきたいと考えています。学年の実態に合わせて、週末に本を持ち帰りますので、お子さんの読書の様子を少し気にかけていただいたり、一緒に楽しんだりしてくださるとありがたいです。ご協力よろしくお願いいたします。

『子どもが読書好きになるヒント BOOK』をお配りしました。シンガーソングライターのあいみょんさんの特別インタビュー、モデルの飯豊まりえさんや生物学者の加藤英明さんなど8つの分野で活躍する8人の方からの、仕事のきっかけになった本や小学生におすすめの本の紹介、読む本に迷った時のワクワク診断など、子どもたちが本を手にとるためのヒントがのっています。また、アンケートに答えると、紙の本1冊か、電子書籍4か月間38冊読み放題のプレゼントがもらえます。ぜひ、目を通してみてください。

校内読書週間（7/8～7/14）

今日から1週間“校内読書週間”を行います。学校では、読書週間に先だって、6日の若草朝会で、図書委員会による読書クイズを行いました。また、今年度の新刊もたくさん図書室に入りました。普段から朝読書や読み聞かせで本に親しんでいる子どもたちですが、読書週間での取組を通して、新たな本と出会ったり、読書の楽しさに気付いたりしてほしいと考えています。

うちどく
*** *家読にご協力ください* ***

おうちの人と本を読もう…読書週間中におうちの人（家族の誰か）と子どもと一緒に読書をする時間をとっていただきたいと思います。一緒に同じ本を読むだけでなく、お子さんに本を読んで聞かせる、お子さんが本を読むのを聞いてあげる、家族で同じ部屋で別々の本を読む、それぞれが読んだ本について語り合うなど、各家庭に合った方法で取り組んでいただければと思います。



ご家庭でお子さんがどのような本に興味があるのか、また、こんな本を読んで欲しいなど読書について話をする絶好の機会です。ご多忙の折、恐縮ですが、ぜひ、おうちでもお子さんの読書の様子を見守ったり、励ましたりしてください。（カードの記入については、下に説明を載せました。お家の人からのメッセージの記入をお願いします。）

読書カードの記入について



親子読書の欄には、子どもたちが

- ・ 読んだ日
- ・ だれと読んだか
- ・ 読んだ本の題名
- ・ 読んだ本の感想
- ・ お家の人と読んだ感想

を書きます。

保護者の皆様から

- ・ **お家の人からのメッセージ**
- の記入をお願いします。

よんだ日	
だれとよみましたか？	
よんだ本のだいめい	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（おうちの方用：お子さんとちがう本を読んだという方はこちらへ）</p> </div>

おうちの方から（一緒に読書をしてみた感想、お子さんに一言、励ましのメッセージなど）

表面【親子読書の欄について】

裏面【読書記録について】

日づけ	ばんごう	よんだ本のなまえ	よんだページ
8 (木)	9	ぞくぞく村のミイラのラムさん	1 ページから 20 ページまで

家庭で読んだ本の題名とページ数を書きます。
毎日、忘れずに記入するように声かけをお願いします。